

【鳥取県】鳥取大学泌尿器科

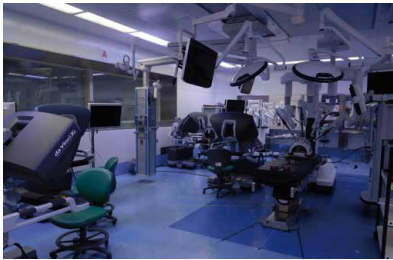
・鳥取大学病院



中海から望む鳥取大学病院と大山

鳥取大学医学部附属病院は名峰大山の麓、鳥取県と島根県の中心に位置する米子市にあります。温泉、サーフィン等が楽しめる日本海と、スキー場がある大山まで車で数十分の距離で、1年中余暇を楽しめる環境にあります。

当院の一つの特徴は低侵襲外科センターです。2010年に全国に先駆けて、泌尿器科によるロボット前立腺全摘除術からロボット手術を導入しました。その際に設立した低侵襲外科センターで、全外科系診療科、麻酔科、そして看護師、臨床工学技士、事務職員が、診療科や部署の垣根を越えて連携し、未知の新技术であったロボット手術を、病院全体で安全に実施できる様々な体制を作り上げてきました。環境整備にも積極的であり、国内有数の広さを誇るロボット専用手術室2部屋を有しています。また、手術ロボットについてダビンチXi、ダビンチXに加え、2022年から国産初の手術支援ロボットhinotoriも導入しています。泌尿器科では、これら3機種を駆使してロボット手術を行っています。



見学室を併設したロボット専用手術室

・泌尿器学教室の取り組み

我々の泌尿器科はこのような大学病院の発展の過程で重要な役割を担ってきました。我々が得意にしている領域の一つは、低侵襲手術ならびにその開発に関する研究です。泌尿器癌の根治性、手術の低侵襲性の両立を目指し、2010年10月より最先端低侵襲手術である、ロボット前立腺全摘除術を開始しました。その後も膀胱全摘除術、腎部分切除術、腎盂形成術、根治的腎摘除術、腎尿管全摘除術、副腎摘出術、褐色細胞腫摘出術について、保険未取載の時点から開始し、その詳細な術式開発を行い、学外手術見学受け入れ、及び学外手術指導も数多く行ってきました。2022年度から保険適用となった根治的腎摘除術、腎尿管全摘除術、副腎摘出術、褐色細胞腫摘出術の4術式については、適用審査過程において中心的役割を担ってきました。また以前から、より安全かつ正確な術式を開発する目的で、米国Cornell大学と共同で外科解剖学的研究を行ってきました。その結果、種々の新知見を報告し新たな術式の確立に応用してきました。この研究成果の集大成の一つとして前立腺全摘除術の術式に関するテキスト(ロボット支援前立腺全摘除術 A to Z解剖から理解する、メディカルビュー社)を発刊し、本邦におけるロボット手術のリーダー的存在となっています。国内外施設と積極的な人的交流を図り、切磋琢磨していくことを当科のモットーの一つとしており、米国を含む海外の一流施設でのロボット手術研修も可能です。ロボット手術は、医師のみならず、看護師、臨床工学士がともに協力して行うチーム医療です。本邦の手術領域では十分に確立していなかったロボット手術チームを、開始当初より確立してきた事も当科の特徴です。

排尿障害、性機能障害等の良性疾患に関する基礎・臨床研究も推進しています。特に難治性排尿障害については、2003年に本邦初のボツリヌス療法を実施し、2009年の保険適用承認、およびその後の普及にも大きく貢献しています。また、2022年に院内に腎センターが設立され、腎臓

内科と連携し、腎移植の推進、腎不全診療の向上、専門医育成に取り組んでいます。このように泌尿器癌、低侵襲手術以外にも幅広い分野のエキスパートを有していることも当科の強みです。我々は卒後教育にも熱心に取り組んでいます。鳥取大学泌尿器科専門研修プログラムに進めば、大学病院や



ロボット手術チーム

地域の拠点病院に加え、関西地域等の他県での研修も可能です。その結果、卒後6年で泌尿器科専門医、その後5年で泌尿器科指導医となることが可能です。特に、外科研修については執刀医の自己評価ファイルを含む動画ライブラリー、難易度別手術指導、若手医師中心の手術手技検討会、大型動物を用いた腹腔鏡手術プログラムなどの教育システムにより、ロボット手術、腹腔鏡手術、開腹手術などのスペシャリストを目指すことが可能です。手術ロボットシミュレーターを始め、各種腹腔鏡用シミュレーターも自由に使用できる環境を整えています。また、特徴ある取り組みとして、骨盤外科ローテーションプログラム、CST (cadaver surgical training) プログラムがあります。骨盤外科ローテーションプログラムは、骨盤外科に関わる泌尿器科、消化器外科、産婦人科の医師が、自身の専門以外の2診療科で研修を行うプログラムで毎年実施しています。このプログラムには他大学医師も参加可能です。CSTプログラムでは、手術手技の向上及びより詳細な外科解剖の修得を目的に、ご献体を用いた腹腔鏡手術や開腹手術のトレーニングを定期的に行っています。

鳥取大学腎泌尿器学教室は出身大学やこれまでのキャリアに関わらず、

多様性を重んじる教室です。また、女性医師や若手医師が多く、エネルギッシュな教室です。地域医療を目指す方、専門的な技術を身につけたい方、世界に羽ばたきたい方など、それぞれの先生に応じたキャリア形成プランを提案し、目標実現に対し、出来る限りの支援をしています。教室にとって「人は宝」だと考え



手術指導風景

ています。これからの医療を担う全国の医学生・研修医の皆さん、ぜひ鳥取大学腎泌尿器学教室で、我々と一緒に、あなたの歴史、そして教室の歴史を作ってくださいませんか。

【お問い合わせ先】

鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野

電話番号： 0859-38-6607

ホームページ： <https://www.med.tottori-u.ac.jp/urology/>

准教授・副科長： 本田正史 honda@tottori-u.ac.jp



教室スタッフ